

2.

これまでの取組を知る

➤ 主なプロジェクト

■「サメの街気仙沼構想推進協議会」サポートプロジェクト

・被災地域企業8社 + 支援企業6社*

*アサヒグループホールディングス(株)、(株)NTTドコモ、
(株)丹青社、(株)DNP東北、
(株)電通東日本、Yahoo! JAPAN(株)

・「サメの街気仙沼」ブランド構築に向けた協議会へのリソース・アイデア提供、サメ食の普及活動、サメの街気仙沼のPR活動等を展開予定。

・健康食品の**企画支援**、**商品のテストマーケティング**、
自社運営サイト・デジタルサイネージを利用した**PR・マーケティング**、
社員食堂での**食材活用**、**フラッグシップ施設企画立案**等を実施。

コラーゲン1食あたり
3,800mg以上！！

さめ肉のコラーゲンつみれの酸辣湯



カロテノイド豊富なカラーピーマン
繊維の多いキノコとの組み合わせ

さめ肉のカラーピーマン詰め



▲ サメまち気仙沼



トマトやカラーピーマンの抗酸化成分をプラス
さめ肉のべっこうあんかけ

3.

**今を支えている
連携について考える**

目指すべきゴール・ビジョン

【背景】

- ・復興に向けた地域経済の活性化、まちづくりに向けた課題は多く、広範な支援ニーズが存在。
- ・グループ補助金等によりハード面は先行しているが、再建を進める企業の4割強で受注・取引の確保、販路開拓の経営課題を抱えている。

※ グループ補助金交付先アンケート調査(東北経済産業局、平成24年9月実施)

【課題】

- － 被災に見舞われた多くの地域が右肩下がり経済状況
- － 被災に見舞われた地域における経済活性化の手段が乏しい
- － 地域復興のニーズは広範に亘り、且つ複雑
- － 各省庁の政策テーマでは対応が困難な課題が山積み
- － 単一の企業や団体でニーズを顕在化することが困難
- － 広範なニーズは個別企業での対応が困難
- － 企業の支援意欲は来年度に急速な低下が予想される

被災地域の復興・活性化を加速するため、
地元経済の課題の深掘りとそれを解決するための支援シーズの発掘、
及び具体的な支援活動のマッチング

■ 企業内資源を活用した被災企業の経営力強化

大手企業等の有する豊富な経営資源(ヒト・モノ・情報・ノウハウ等)を活用した
被災企業の経営力・競争力の強化

■ 地域復興を牽引するコミュニティの形成、拡大

自らの足で復興に向けた活動を行っている企業や団体の発掘とネットワーキングを
通じたコミュニティ形成、及び支援を通じた成長



■ 持続的に発展し続ける地域経済の実現

石巻うまいもの株式会社

会社の枠を超え、10社を一つの工場の見立て、
石巻ならではの本物の味をつくろう。



石巻・金華マーク

石巻の象徴とも言える金華山と豊かな海を背景に、石巻市の木である黒松をあしらった石巻・金華マーク。地元・石巻の風土が育んだ美味しさの証です。



4.

未来を考える

未来へのキーワード

まちづくり自分ゴト化

- **コミュニティ形成**
- **まちを担う未来の大人たちの育成**
- **地域産業、経済の活性化**

地域産業、経済の活性化

産官学＋公

- 各産業をけん引するリーダー群
- 地域ブランディング
- 経済団体を中心としたプラットフォーム

持続的に発展する地域社会

イノベーション

成長戦略

リソース

